

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルアナ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的な保護者面談を行い、普段の保護者との関りの中でお子様の支援の関する相談支援や、課題を共有している	面談以外でも課題や支援の方向性、学校やご家庭の様子をお話出来る機会を作り、困りごとや相談に応じている	職員全体が子どもの特性や専門知識を高め、スキルの向上を目指し、よりご家族に寄り添った支援に繋げていきたい
2	自主性を豊かに持つことで子供たちそれぞれが自己決定できるよう支援している	子どもが自身の気持ちや意見を持ち、相手に伝え、自身で考えることや判断して自己決定していける場面を促している	出来ることを増やし、出来たことをしっかりと認めてあげることで自己肯定感を高めていける事へ導いていく課題に向き合って取り組んでいけるよう支援していく
3	市のボランティア活動をされている方々との交流が持てる企画を行っている	外部の方々を招き入れることによって、地域の方々と触れ合える機会を子供たちに作ってもらい、事業所と福祉関係者がお互いに協力してイベントを行っている	ボランティア活動の方々を通して、季節を感じてもらえるイベントを子供たちと楽しく関りが持てることを継続していきたい 演奏会や、マジックショー、読み聞かせ、人形劇等

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	デイサービス卒業後から障害福祉サービス事業所へ移行される児童様がまだおらず、支援の情報共有等が足りていない	就労支援等の福祉事業サービス事業所と情報共有できる時期や機会が少ない	今後、高校生がデイサービス卒業していく時期などを迎える際に社会に向けての移行として福祉事業サービス事業所と事前にどんな対応をしていくかを考え、連携をとっていきたい
2	父母会や、保護者会等の交流をとる機会が少ない	父母会や保護者会の必要性がないとの意見があるためこれまで特に機会を設けてきていない	体育館を借りてイベント等を行う際には参観希望される保護者が少ないこともあり、保護者参加型のイベント企画も必要性に応じて取り入れていくことを検討していきたい
3	緊急時の対応や、安全対策などについて保護者の方々全体に共有が出来ていないと感じる	緊急時対応や各種マニュアルなどについて、事業所からはご契約時のみしか、お伝えが出来ていない	マニュアル等の書式以外では、定期的な避難訓練やその時の様子など、参加されていない児童様の保護者様には認識も薄くなってしまいうため、訓練を行う曜日などが固定化せずに行われることや、お便りやSNS等での発信に工夫をしていく